

【専門教育科目/公衆衛生看護学】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
公衆衛生看護学概論Ⅱ		選択	1	3	前期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
山崎洋子	301	y.yamazaki	開講日 16:20~17:00		
授業の目的・概要	公衆衛生看護の歴史を振り返りながら、行政看護、学校看護、産業看護の目的、対象特性、看護方法、関係する法令を理解する。また、公衆衛生看護活動に使用する諸理論を学び、PDCAサイクルやハイリスク・アプローチ、ポピュレーション・アプローチに対する具体的活動の概要と特徴を理解する。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ( )				
学習上の助言	公衆衛生看護学概論Ⅰでの学びを踏まえ、さらに他の看護学および、社会人としての教養を学びながら、公衆衛生看護活動の理論を深め、より実践的な援助が展開できる方法・技術を習得する。				
教科書	最新公衆衛生看護学各論2 宮崎美沙子ら編 日本看護協会出版会 2022 ワークブック 地域/公衆衛生看護活動事例演習 牛尾裕子ら編 クオリティケア 2019				
参考書	厚生省の指標 増刊 国民衛生の動向 2020/2021 厚生統計協会 最新公衆衛生看護学総論 2019年度版 日本看護協会出版会				
外部教材					
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	社会の変化と公衆衛生看護の発展過程を説明できる。		HSU (1~6)、NS (2~5)		
②	保健師の行う保健指導の方法を説明できる		HSU (1~6)、NS (1~5)		
③	地区活動のプロセスを説明できる。		HSU (2~5)、NS (1~4)		
④	学校/産業生活集団を対象とした看護活動について法的根拠とともに説明できる		HSU (2~4)、NS (1~5)		
⑤					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	オリエンテーション/保健師課程の履修にあたって/保健師活動の特徴	対面講義	保健師課程の選択科目である本講義の開講にあたり、学びたいことを明らかにしておく		2
2	社会の変化と公衆衛生看護活動の発展	対面講義	保健師の誕生から現在までの社会の変化を整理しておく		4
3	公衆衛生看護活動のアプローチ方法(ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチ)	対面講義	概論1で示した地区活動について復習して臨む		4
4	公衆衛生看護活動の方法1(家庭訪問援助)	対面講義・事例演習(PBL)	示された事例を熟読して授業に臨む		4
5	公衆衛生看護活動の実際2(個別の事例から事業計画立案へ)	事例演習(PBL)	事前資料を読み込んで臨む		4
6	学校保健活動の概要	対面講義	配布資料を読んで授業に臨む		4
7	産業保健活動の概要	対面講義	生活習慣病について知識を整理しておく		4
8	公衆衛生看護と国際保健	対面講義	現在の世界情勢について調べておく		4
試	定期試験 レポートの評価は、公衆衛生看護の理解だけでなく、学生自身による意見・考察を重視する。				

【専門教育科目/公衆衛生看護学】

		達成度評価						
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
総合力指標	知識・技術力	25	30	0	0	0	100	
	思考・推論・創造する力	25	10	0	0	0	25	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	0	10	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	10	0	0	0	0	10	
問題を発見・解決する力		10	10	0	0	0	20	
評価のポイント								
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点					フィードバックの方法	
試験	①	✓	保健師国家試験に準ずる設問方法とする					後日、問題の解説を行う
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
レポート	①	✓						レポートはコメントして返却する。
	②	✓						
	③	✓						
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
備 考								
他 担 当 教 員	山崎洋子							
教員の実務経験	自治体保健師として約10年の経験を有する。							
実践的授業の内容	担当教員が自治体保健師として実践した活動内容を事例として、保健師がどのように思考するか、公衆衛生看護活動のエッセンスをわかりやすく解説する。							
そ の 他	大学が公表する感染対策を遵守し、指示に従うこと。感染症のまん延状況等によっては、授業の方法・内容が変更されることがある。 欠席する場合は、教員あるいは、事務室に連絡すること。 配布した資料は、後続する実習(公衆衛生看護学実習Ⅰ・Ⅱ)でも用いるので、保存すること。 本授業の単位を取得できなければ、公衆衛生看護学実習を受講することができない。							